

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	緑ヶ丘発達支援センターひかり		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 13日		～ 2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2026年 1月 13日		～ 2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別の特性に応じた支援と環境調整	アセスメントをもとに職員間で共通理解を図り、事業所全体の構造化に加え、個々の学習スタイルに合わせた視覚ツール等を活用しています。一人ひとりの「わかる」「できる」を支援しています。行動分析を行い、環境調整を図り自己肯定感・自己有用感を高めながら過ごすことができるよう支援しています。	支援ツールを活用し一人ひとりの強みをいかしながら、楽しい療育活動を通じ、地域資源を活用し自立した地域生活を目指します。
2	こども家庭支援(ペアレント・トレーニングの実施・定期的な保護者面談や保護者茶話会の実施・ファミリーイベントの開催)	面談時間を調整しながら個別にも対応しています。お子さまの意向と発達状況等をふまえ保護者の同意をいただき、支援計画の作成を行っています。関係機関も交えた相談支援も実施しています。ペアレント・トレーニングや保護者茶話会、ファミリーイベントを行っています。	地域で開催されているピア・グループ活動や学習会の情報共有を行っています。OB,OGの保護者イベントでの交流など、インフォーマルな資源も活用していきます。
3	関係機関や専門機関との連携	保育所・幼稚園等と情報共有を行い支援を行っています。PT・OTといった専門職からのアセスメントと支援方法を家庭や保育所・幼稚園と共有し支援を行っています。	移行支援に向けた関係連携を深めていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の他のこどもとの活動する機会	事業所開放デイを開催しているが、周知が不足しています。今後、児童館との交流の機会について検討していきたいと思います。	事業所開放デイを継続して取り組み、開催日時を工夫し地域交流を図っていきます。
2	非常時等のマニュアル周知について	BCP計画や安全計画・各避難訓練やマニュアルについて計画等策定・実施しているが、周知方法が不足している。	広報誌や連絡帳、お知らせの文書等の活用、保護者面談や保護者茶話会やファミリーイベントの際にもアナウンスしていきたいと思います。
3	活動スペースの確保	長期休みが時間帯によって、混雑してしまう時があります。個々のスケジュールや活動エリアを調整し、支援体制を整えています。	シナリオシートにて支援体制の可視化を継続し、併せてリスクマネジメントも徹底していきたいと思います。